

## 九重火山からの二酸化イオウの放出量 (3) \*

Emission rate of SO<sub>2</sub> at Kuju Volcano (3)

九州大学理学部附属島原地震火山観測所  
Kyushu Univ.

島原地震火山観測所では、1995年10月11日の九重火山の噴火以降、同火山硫黄山周辺からの二酸化イオウ放出量を繰り返し測定している。方法はいずれも、噴煙下をCOSPECを搭載した観測車で横切って測定するTraverse法である。

1996年5月測定以降、1996年10月および12月に再測を実施した。放出量平均値はそれぞれ35 t/day、109 t/dayで、噴火開始当初に比べ少ないものの、1996年以降の測定値としては100 t/day前後での横ばい状態を保っている。

### 参 考 文 献

- 鎌田政明・太田一也 (1997) : 桜島火山南岳からのSO<sub>2</sub>放出量, 第2回桜島火山の集中総合観測報告書, 98-104.  
江原幸雄・湯原浩三・野田徹郎 (1981) : 九重硫黄山からの放熱量・噴出水量・火山ガス放出量とそれから推定される熱水系と火山ガスの起源, 火山, 26, 35-56.  
島原地震火山観測所 (1996) : 九重火山からの二酸化イオウの放出量 (2), 噴火予知連会報, 65, 71-72.

---

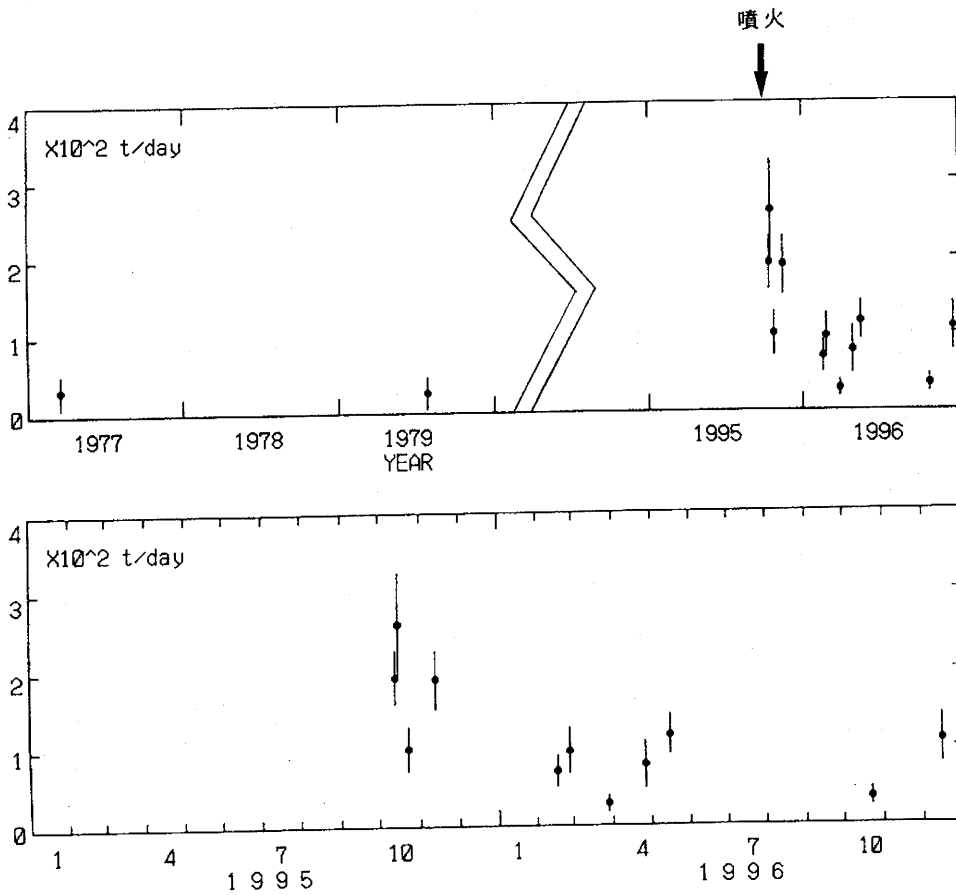
\* Received 17 Mar., 1997

第1表 二酸化イオウ放出量測定値

Table 1 Measurements of SO<sub>2</sub> emission at Kuju Volcano.

測定日	測定回数	放出量	放出量平均値	標準偏差	測定方法	備考
1977/ 3/14		11~ 53t/day			C P	鎌田・太田
1979/ 7		6~ 57	26t/day		成分比	江原他
1995/10/13	10	143~266	192	34	C T	
1995/10/15	6	165~345	261	64	C T	
1995/10/23	4	61~139	100	28	C T	
1995/11/13	8	154~258	190	37	C T	
1996/ 2/16	10	111~ 43	70	20	C T	
1996/ 2/26	4	66~135	97	29	C T	
1996/ 3/28	8	20~ 47	28	10	C T	悪天候のため噴煙見えず
1996/ 4/26	4	36~122	78	30	C T	
1996/ 5/16	8	73~135	117	25	C T	
1996/10/23	5	23~ 53	35	11	C T	
1996/12/16	6	47~150	109	31	C T	

注) C P : COSPEC(PANNING)  
C T : COSPEC(TRVERSE)



第1図 九重火山における二酸化イオウ放出量の推移

Fig. 1 Variation of SO<sub>2</sub> emission rate at Kuju Volcano.